

未定稿

連携中枢都市圏ビジョン (素案)

平成 28 年 月

長野市

連携中枢都市圏ビジョン構成

序 策定の趣旨

I 連携中枢都市圏及び市町村の名称

1. 連携中枢都市圏の名称
2. 連携中枢都市圏を構成する市町村の名称

II 連携中枢都市圏の中長期的な将来像

1. 長野地域の状況
 - (1) 概況
 - (2) 圏域各市町村の状況
 - (3) 産業の状況
 - (4) 連携中枢都市圏における将来推計人口
 - (5) 行政及び民間分野に係る都市機能の集積・強化の現状等
 - (6) 人口動態
2. 長野地域の将来像
 - (1) 目指すべき将来像
 - (2) 中長期的な将来の人口目標

III 連携協約等に基づき推進する具体的取組

1. 連携事業
 - (1) 圏域全体の経済成長
 - (2) 高次の都市機能の集積・強化
 - (3) 圏域全体の生活関連機能サービスの向上
2. 具体的取組の期間
3. 成果指標

序 策定の趣旨

日本全体の人口が減少し、地方から都市圏への人口流出が続き、地方の活力が失われつつある現状において、人口減少への対策については、多様な地域特性をもった市町村が、それぞれの特色を活かして取り組んでいくことが基本となります。一方、一つの自治体のみで完結できない課題も少なくないことから、近隣市町村と連携して取り組むことも必要です。

本ビジョンは、長野地域の市町村が、人口減少下における様々な地域の課題に対し、合併によらず、「お互いの強みを活かし、弱みを補う」ことにより、持続可能な地域社会を創生するとともに、圏域全体を活性化し発展させていくことを目的に策定するものです。

I 連携中枢都市圏及び市町村の名称

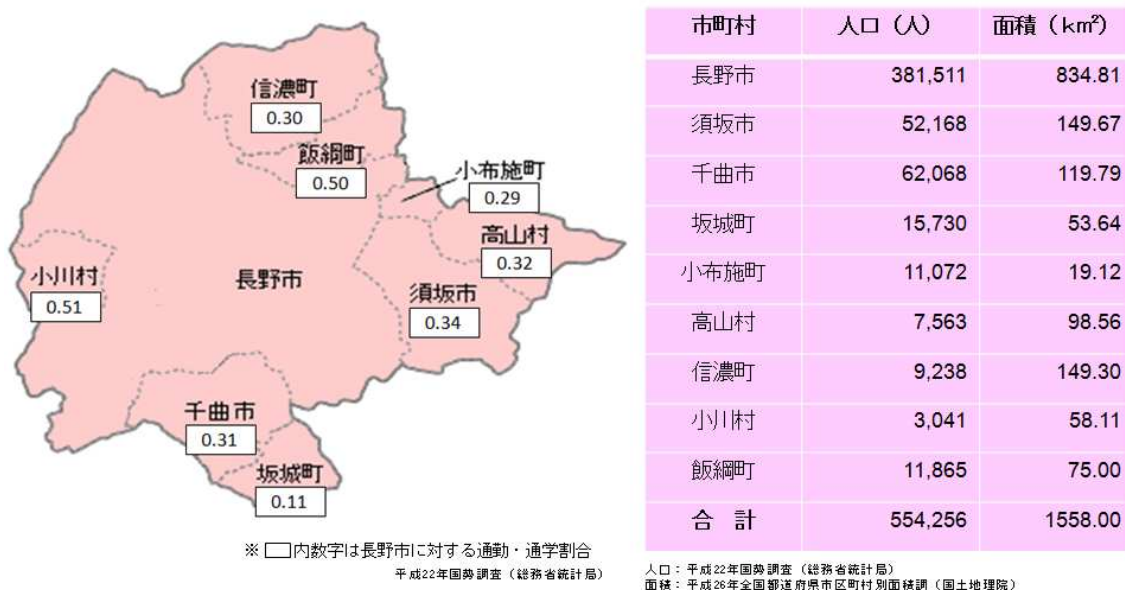
1. 連携中枢都市圏の名称

(仮称) 長野地域連携中枢都市圏

2. 連携中枢都市圏を構成する市町村の名称

長野市、須坂市、千曲市、坂城町、小布施町、高山村、信濃町、小川村、飯綱町

図表 1 - 1 長野地域 9 市町村の人口、面積及び長野市に対する通勤通学割合



Ⅱ 連携中枢都市圏の中長期的な将来像

1. 長野地域の状況

(1) 概況

長野市、須坂市、千曲市、坂城町、小布施町、高山村、信濃町、小川村及び飯綱町が位置する長野地域は、長野県の北部に位置し、千曲川と犀川が合流する善光寺平を中心に、政治・経済・文化・教育等の機能が集積し、県の中核的な地域として発展してきました。面積は1,558.00平方キロメートルで県全体の11.5%に当たり、人口規模は554,256人（2010年国勢調査）で同じく25.8%に当たります。

多種多様な産業が栄え、特に機械・電気・食品をはじめとした製造業は地域経済のけん引役として多くの雇用を創出しています。また、農業も盛んで、様々な農畜産物の生産が行われています。中でも、りんごやぶどう等の果樹は、市場性の高い長野県オリジナル品種のブランド化が進んでいます。県庁所在地である長野市では、官公署が集中していたことから、卸売業を中心に、商業が発達しています。

地域内は、貴重な歴史文化遺産や温泉をはじめとする豊富な魅力ある観光資源及び四季折々の豊かな自然と風光明媚な景色に恵まれ、年間を通して多くの観光客が訪れます。

交通網については、1998年（平成10年）の長野オリンピックの開催に合わせて新幹線や高速道路等の整備が進み、首都圏との時間距離が大幅に短縮されました。2014年度（平成26年度）末には、北陸新幹線が金沢まで延伸し、国内外からの交流人口の増加等による地域経済の活性化が期待されています。

多くの自然を有する長野地域は、森林資源や水資源などの自然エネルギーが豊富です。小水力発電の可能性を有する砂防ダムや農業用水路では、発電施設の設置に向けた取組が進められています。また、バイオマス発電やペレット燃料の製造など、森林資源の活用も進められています。

長野県は、広域連合の制度を、互いに支え合う仕組みとして積極的に推進し活用してきた「広域連合先進県」であり、現在、県内を10地域に分け、10の広域連合が設置されています。長野地域においては、関係9市町村が長野広域連合を組織し、介護や福祉（介護認定審査会及び障害程度区分認定審査会に関する事務や特別養護及び養護老人ホームに関する事務など）及び環境（ごみ焼却施設及び最終処分場に関する事務）などの分野において、事務の共同処理を中心とした広域行政を実施するなど、従来から連携し、つながりを強めてきました。

長野地域が取り組む連携中枢都市圏の形成は、広域連合により長野地域の市町村が培ってきた顔の見える親しい関係を土台に、連携協約に基づくより柔軟でネットワークの軽い新たな広域連携を目指しています。

資料：しあわせ信州創造プラン 長野県総合5か年計画【2013】

(2) 圏域各市町村の状況

○ 長野市

--

○ 須坂市

--

○ 千曲市

--

○ 坂城町

--

○ 小布施町

--

○ 高山村

--

○ 信濃町

--

○ 小川村

--

○ 飯綱町

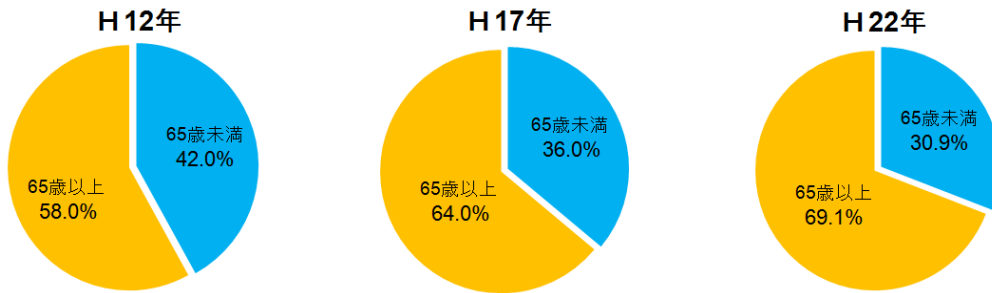
--

(3) 産業の状況

① 農業従事者の推移（農業就業人口（※）で集計）

- ▶ 65歳未満の農業従事者数は、H12→H22の10年間で約半減となっている。
- ▶ 65歳以上の農業従事者数は増加を続け、H22年では農業従事者全体の約7割を占めている。

図表 2 - 1 長野地域における人口と人口年齢3区分別人口割合の推移



	H12年 (2000年)	H17年 (2005年)	H22年 (2010年)	H12⇒H22 増減割合
65歳未満(人)	12,885	9,465	6,622	51.4%
65歳以上(人)	17,820	16,799	14,839	83.3%
合計	30,705	26,264	21,461	69.9%

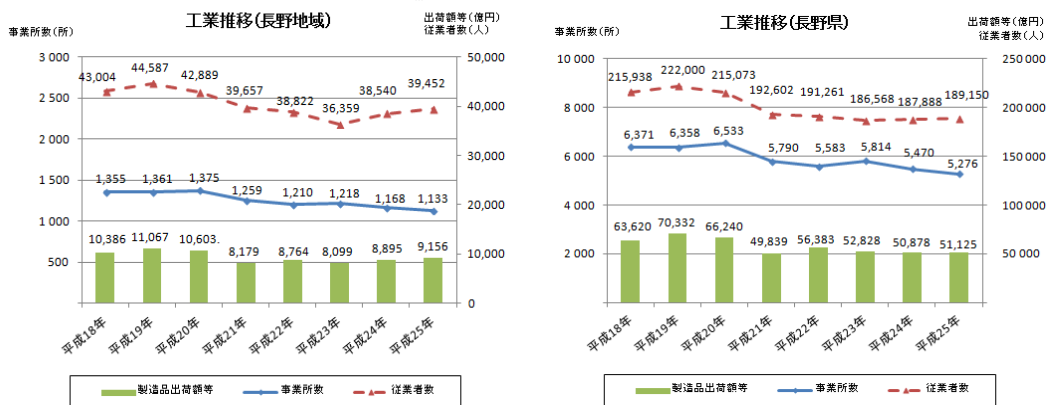
※ 農業就業人口とは、15歳以上の農家世帯員のうち、調査期日前1年間に自営農業だけに従事した者と農業とそれ以外の仕事(兼業)の双方に従事したが、自営農業従事日数の方が多い者の両者の合計

資料：2000年、2005年、2010年 農林業センサス

② 工業の推移

- ▶ 従業者数及び製造品出荷額等は、H23年以降、緩やかな増加傾向にあるものの、事業所数は減少傾向にある。
- ▶ 県全体でも同様の傾向が見られるが、H24年の製造品出荷額等は前年を下回っている。

図表 2 - 2 工業の推移（長野地域及び長野県）



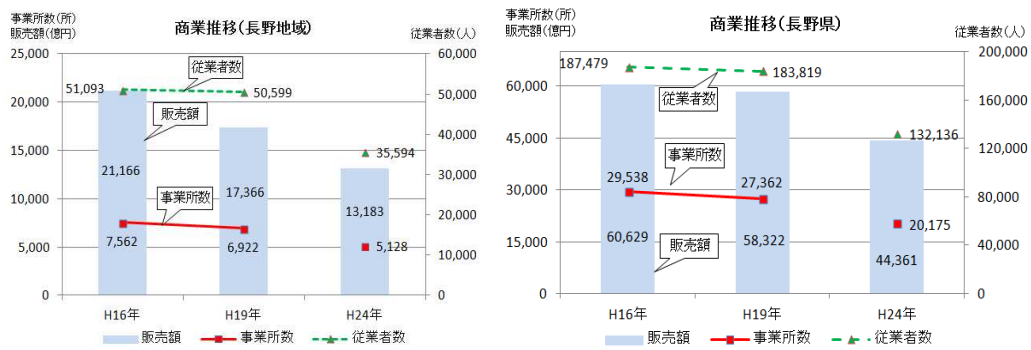
平成 25 年工業統計調査結果報告書

③ 商業の推移

▶ 従業者数、事業所数及び販売額のいずれも減少傾向にある。

※ 平成19年までの商業統計と平成24年度の経済センサスは集計対象が異なるため単純比較はできない。

図表 2-3 商業の推移（長野地域及び長野県）



資料：平成19年商業統計調査結果、平成24年経済センサス調査結果

④ 産業3区分別就業者数及び割合（H22）

▶ 長野市では第3次産業、千曲市、坂城町では第2次産業、小布施町、高山村、小川村、飯綱町では第1次産業の就業者割合が高い。

図表 2-4 産業3区分別就業者数及び割合（H22）

区分	就業者数(人)				割合 ※2		
	総数 ※1	一次産業	二次産業	三次産業	一次産業	二次産業	三次産業
長野市	195,808	12,548	40,276	128,977	6.9%	22.2%	70.9%
須坂市	26,196	3,072	7,727	14,679	12.1%	30.3%	57.6%
千曲市	29,964	2,225	10,009	17,595	7.5%	33.6%	59.0%
坂城町	7,645	626	3,425	3,562	8.2%	45.0%	46.8%
小布施町	6,258	1,488	1,593	3,106	24.1%	25.7%	50.2%
高山村	4,126	812	1,318	1,981	19.8%	32.1%	48.2%
信濃町	4,666	626	1,259	2,740	13.5%	27.2%	59.2%
小川村	1,422	253	414	752	17.8%	29.2%	53.0%
飯綱町	6,787	1,717	1,549	3,478	25.5%	23.0%	51.6%
長野地域	282,872	23,367	67,570	176,870	8.7%	25.2%	66.0%
長野県	1,091,038	103,387	310,884	639,888	9.8%	29.5%	60.7%

※1 分類不能産業を含む

※2 分類不能産業を除く

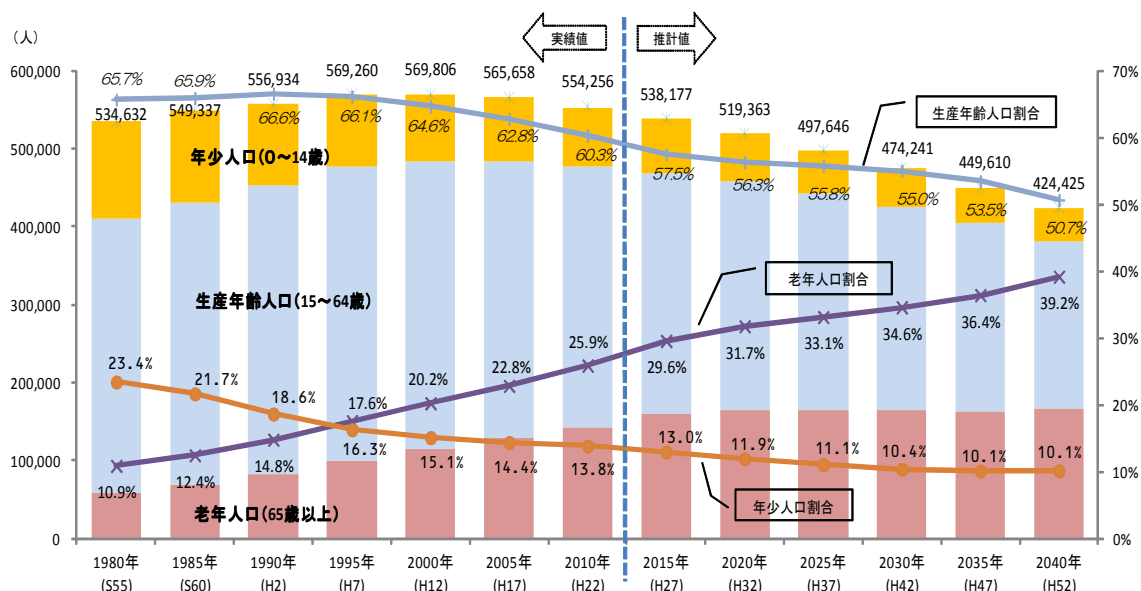
資料：平成22年国勢調査産業等基本集計（総務省統計局）

(4) 連携中枢都市圏における将来推計人口

《将来推計人口》

- ▶ 長野地域の人口は、2000年（平成12年）頃をピークに減少に転じ、2010年（平成22年）には554,256人と2000年（平成12年）と比べ約1.5万人の減少となっています。
- ▶ 2010年（平成22年）以降も減少を続け、2040年（平成52年）には、2010年（平成22年）と比べ約13万人減少すると見込まれています。
- ▶ 年少人口（0～14歳）割合、生産年齢人口（15～64歳）割合が低下する一方、老年人口（65歳以上）割合は上昇し、2040年（平成52年）には、約4割が65歳以上の高齢者になると見込まれています。

図表2-5 長野地域における人口と人口年齢3区分別人口割合の推移



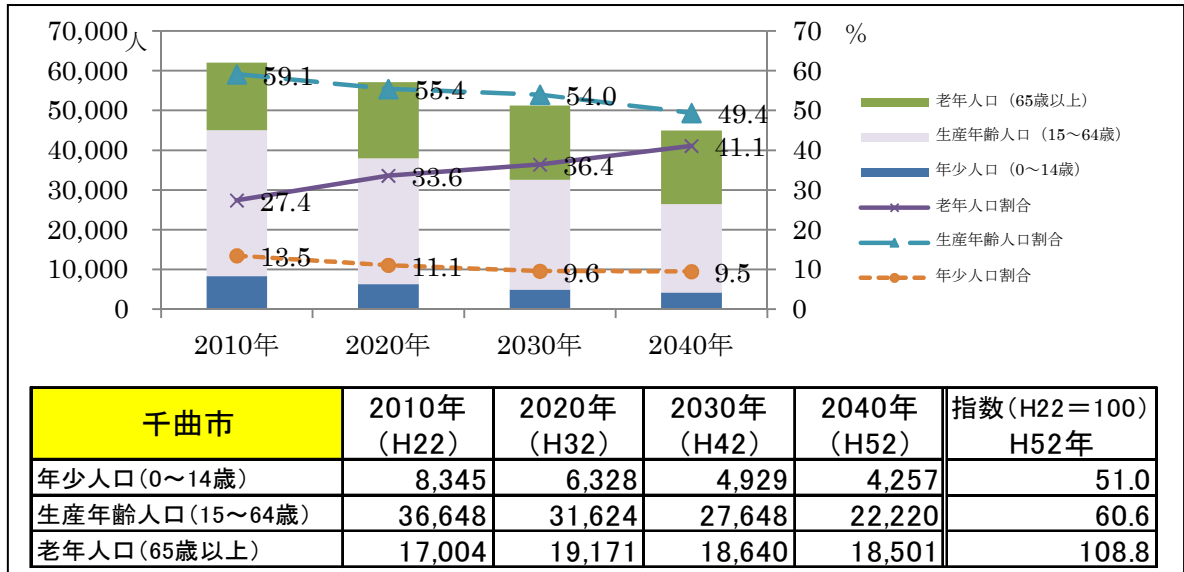
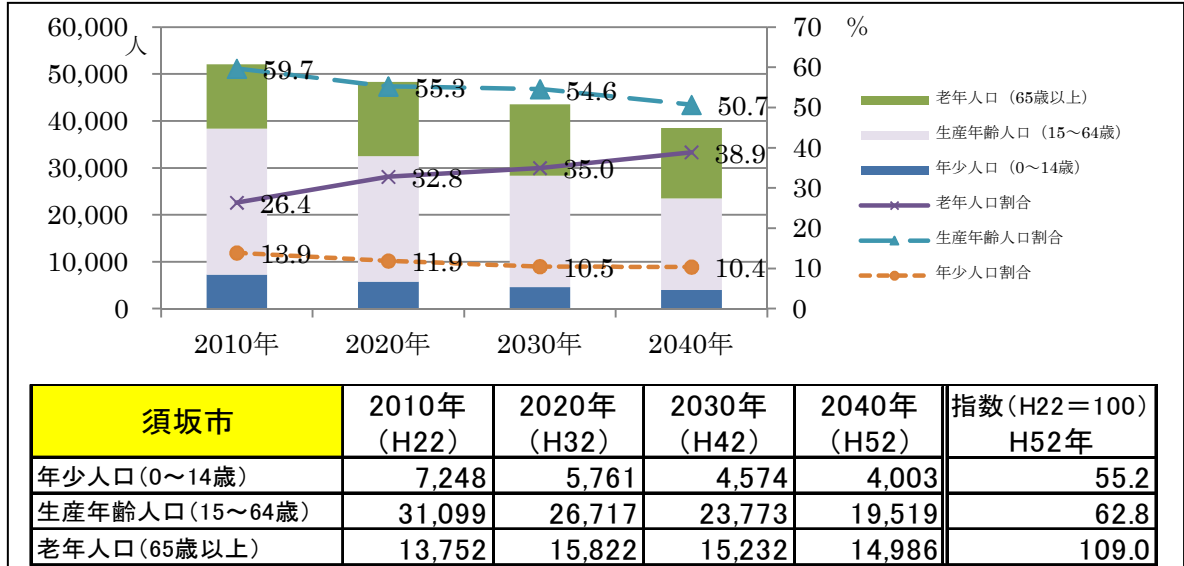
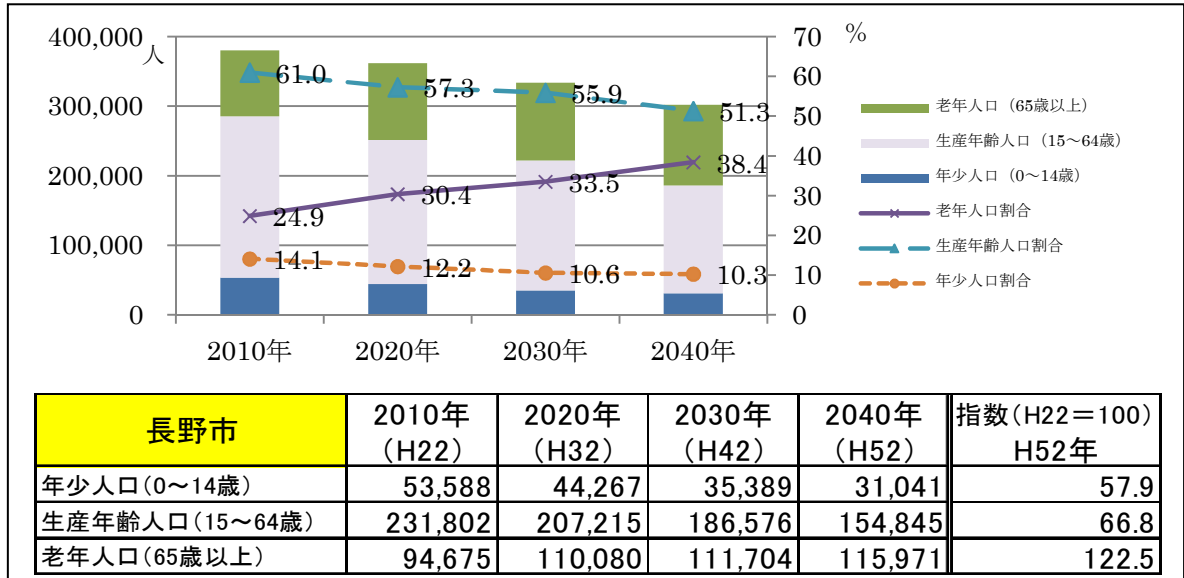
【資料】実績：国勢調査結果、推計：国立社会保障・人口問題研究所（平成25年3月推計）
※人口割合は、分母から不詳を除いて算出している。

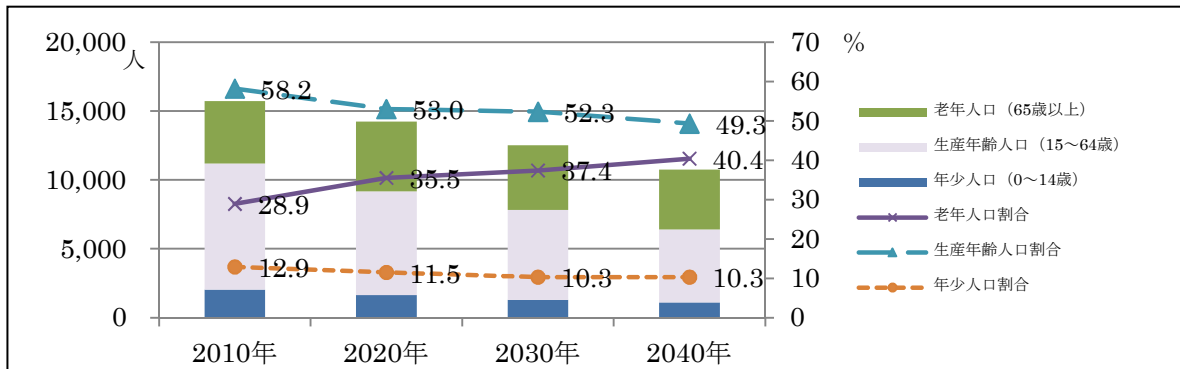
図表2-6 市町村別将来推計人口

長野地域	2010年 (H22)	2020年 (H32)	2030年 (H42)	2040年 (H52)	変化率 (2010→2040)
長野市	381,511	361,562	333,669	301,857	-20.9%
須坂市	52,168	48,300	43,579	38,508	-26.2%
千曲市	62,068	57,123	51,217	44,978	-27.5%
坂城町	15,730	14,224	12,508	10,756	-31.6%
小布施町	11,072	10,124	9,011	7,817	-29.4%
高山村	7,563	7,120	6,539	5,869	-22.4%
信濃町	9,238	7,890	6,575	5,296	-42.7%
小川村	3,041	2,470	1,998	1,644	-45.9%
飯綱町	11,865	10,550	9,145	7,700	-35.1%
合計	554,256	519,363	474,241	424,425	-23.4%

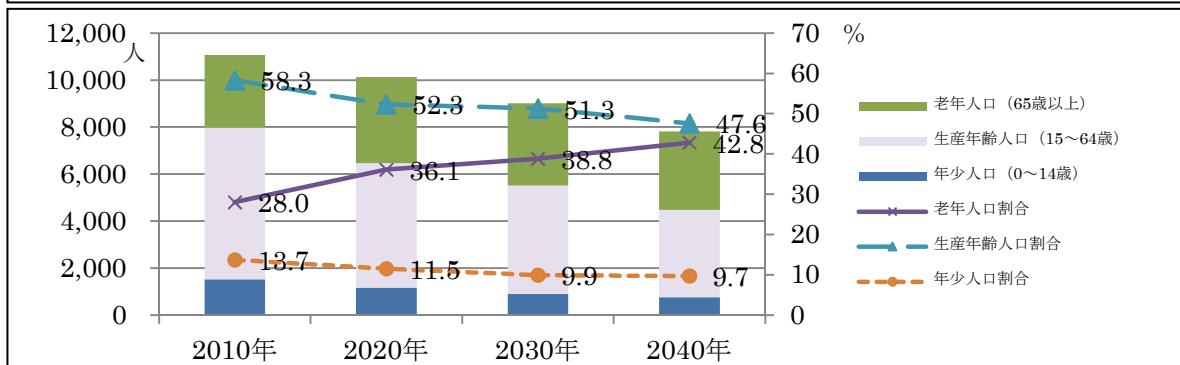
【資料】実績：国勢調査結果、推計：国立社会保障・人口問題研究所（平成25年3月推計）

図表 2-7 各市町村における人口年齢 3 区分別人口割合の推移

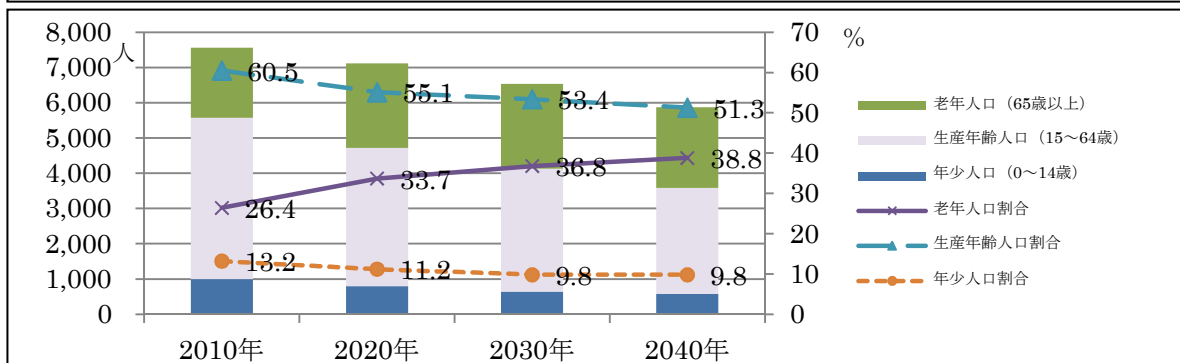




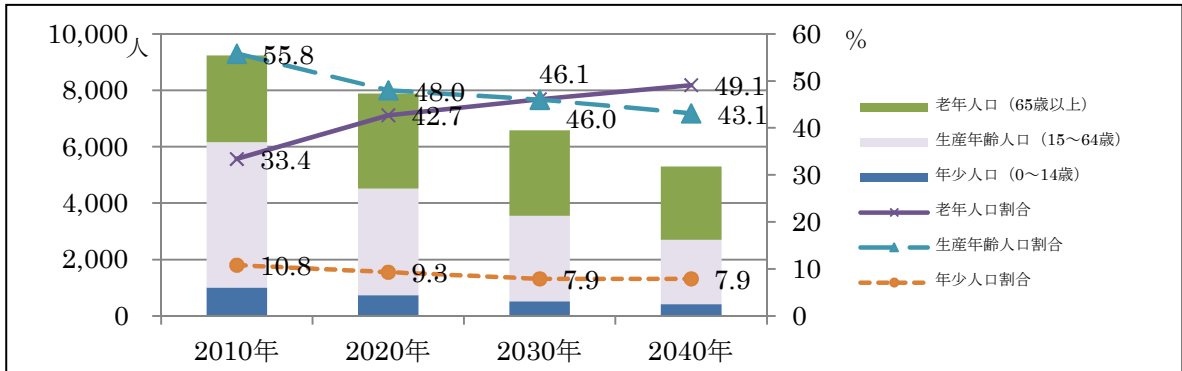
坂城町	2010年 (H22)	2020年 (H32)	2030年 (H42)	2040年 (H52)	指数(H22=100) H52年
年少人口(0~14歳)	2,029	1,642	1,286	1,111	54.8
生産年齢人口(15~64歳)	9,150	7,538	6,547	5,304	58.0
老年人口(65歳以上)	4,544	5,044	4,675	4,341	95.5



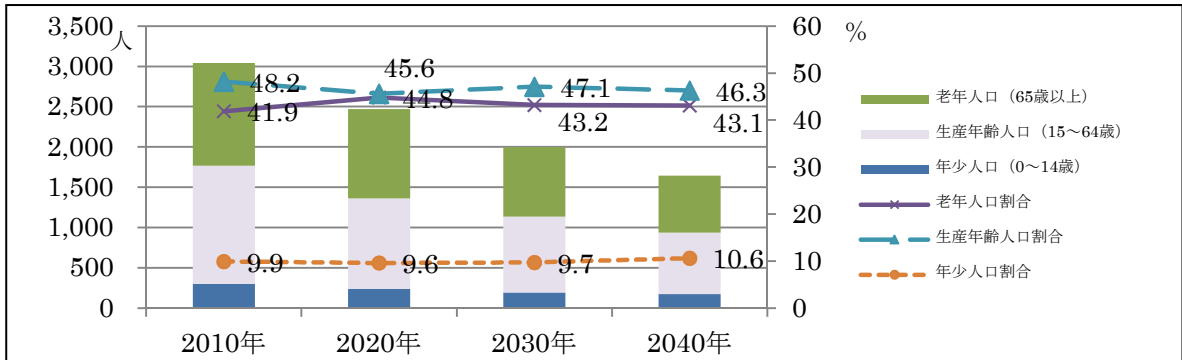
小布施町	2010年 (H22)	2020年 (H32)	2030年 (H42)	2040年 (H52)	指数(H22=100) H52年
年少人口(0~14歳)	1,518	1,167	889	756	49.8
生産年齢人口(15~64歳)	6,454	5,299	4,627	3,717	57.6
老年人口(65歳以上)	3,096	3,658	3,495	3,344	108.0



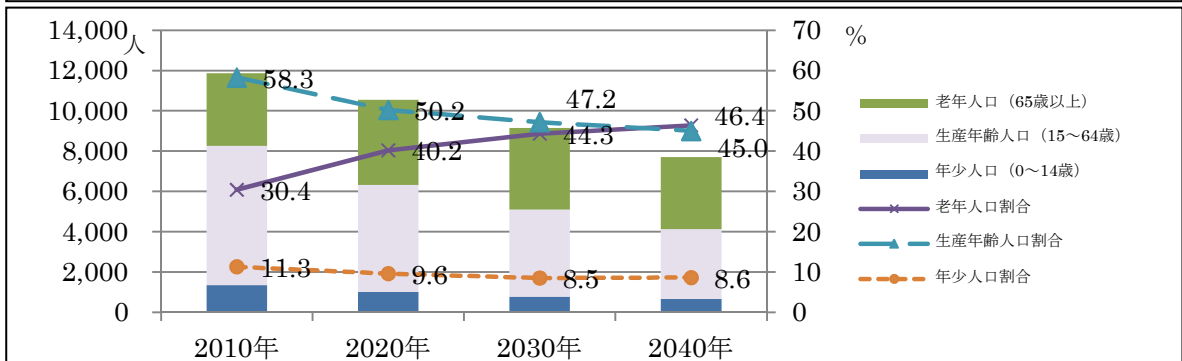
高山村	2010年 (H22)	2020年 (H32)	2030年 (H42)	2040年 (H52)	指数(H22=100) H52年
年少人口(0~14歳)	996	800	642	578	58.0
生産年齢人口(15~64歳)	4,574	3,920	3,491	3,011	65.8
老年人口(65歳以上)	1,993	2,400	2,406	2,280	114.4



信濃町	2010年 (H22)	2020年 (H32)	2030年 (H42)	2040年 (H52)	指数(H22=100) H52年
年少人口(0~14歳)	1,002	732	520	416	41.5
生産年齢人口(15~64歳)	5,155	3,786	3,027	2,282	44.3
老年人口(65歳以上)	3,081	3,372	3,028	2,598	84.3



小川村	2010年 (H22)	2020年 (H32)	2030年 (H42)	2040年 (H52)	指数(H22=100) H52年
年少人口(0~14歳)	301	236	193	174	57.8
生産年齢人口(15~64歳)	1,465	1,127	942	761	51.9
老年人口(65歳以上)	1,275	1,107	863	709	55.6



飯綱町	2010年 (H22)	2020年 (H32)	2030年 (H42)	2040年 (H52)	指数(H22=100) H52年
年少人口(0~14歳)	1,346	1,016	780	666	49.5
生産年齢人口(15~64歳)	6,915	5,298	4,318	3,464	50.1
老年人口(65歳以上)	3,604	4,236	4,047	3,570	99.1

【資料】実績：国勢調査結果、推計：国立社会保障・人口問題研究所（平成25年3月推計）
 ※人口は年齢不詳を含まない。 ※割合は分母から年齢不詳を除いて算出している。

◀ 「20～39 歳女性」の将来推計人口 ▶

- ▶ 長野地域全ての市町村において、2040年（平成52年）に若年女性が30%以上減少すると見込まれています。特に、小布施町、信濃町、飯綱町では、40%以上の減少が見込まれています。

図表 2-8 「20～39 歳女性」の将来推計人口

	2010年 総人口	2010年 20-39歳女性	2040年 総人口	2040年 20-39歳女性	若年女性人口変化率 (2010→2040)
長野市	381,511	43,707	301,857	27,535	-37.0%
須坂市	52,168	5,372	38,508	3,372	-37.2%
千曲市	62,068	6,407	44,978	3,853	-39.9%
坂城町	15,730	1,535	10,756	925	-39.7%
小布施町	11,072	1,094	7,817	617	-43.6%
高山村	7,563	712	5,869	456	-36.0%
信濃町	9,238	734	5,296	339	-53.8%
小川村	3,041	241	1,644	148	-38.6%
飯綱町	11,865	994	7,700	580	-41.6%

【資料】実績：国勢調査結果、推計：国立社会保障・人口問題研究所（平成25年3月推計）

(5) 行政及び民間分野に係る都市機能の集積・強化の現状等

① 行政機関

図表 2-9 圏域内の主な行政機関

項目	主な施設
総務省	長野行政評価事務所、信越総合通信局
法務省	長野地方法務局、長野保護観察所、東京入国管理局長野出張所、長野刑務所【須坂市】、長野拘置支所、長野少年鑑別所、長野地方検察庁、長野公安調査事務所
財務省	関東財務局長野財務事務所、名古屋税関長野地区方面事務所、長野税務署、関東信越国税不服審判所長野支所
文部科学省	東京大学地震研究所信越地震観測所
厚生労働省	関東信越厚生局長野事務所、長野労働局、長野労働基準監督署、公共職業安定所、須坂公共職業安定所【須坂市】、ハローワーク（長野、篠ノ井）
農林水産省	関東農政局長野地域センター、中部森林管理局、北信森林管理署戸隠森林事務所、北信森林管理署黒姫森林事務所【信濃町】
経済産業省	日本貿易振興機構長野貿易情報センター
国土交通省	国土交通省関東地方整備局長野営繕事務所、国土交通省関東地方整備局長野国道事務所、国土交通省北陸地方整備局千曲川河川事務所、国土交通省北陸地方整備局千曲川河川事務所戸倉出張所【千曲市】、北陸信越運輸局長野運輸支局、長野地方气象台、松代地震観測所、松代地震センター、自動車検査独立行政法人北陸信越検査部長野事務所
環境省	環境省長野自然環境事務所、戸隠自然保護官事務所
防衛省	自衛隊長野地方協力本部
裁判所	長野地方裁判所、長野家庭裁判所、長野簡易裁判所、長野検察審査会

資料：各種ホームページ

② 医療機関

図表 2-10 圏域内の主な医療機関

項目	主な施設
初期救急医療	長野市民病院・医師会急病センター、厚生連篠ノ井総合病院・医師会急病センター、厚生連長野松代総合病院急病センター、須高休日緊急診療室（休日昼間のみ）【須坂市】、千曲中央病院【千曲市】
第2次救急医療	<p>《救急告示医療機関》</p> <p>山田記念朝日病院、北野病院、厚生連篠ノ井総合病院、厚生連新町病院、厚生連長野松代総合病院、国立病院機構東長野病院、小林脳神経外科病院、小林病院、竹重病院、田中病院、長野市民病院、長野赤十字病院、長野中央病院、東口病院、伊勢宮胃腸外科、県立須坂病院【須坂市】、轟病院【須坂市】、千曲中央病院【千曲市】、新生病院【小布施町】、信越病院【信濃町】、町立飯綱病院【飯綱町】</p> <p>《入院救急医療（病院群輪番制参加医療機関）》</p> <p>厚生連篠ノ井総合病院、厚生連長野松代総合病院、長野市民病院、長野赤十字病院、長野中央病院、県立須坂病院【須坂市】、千曲中央病院【千曲市】</p>
第3次救急医療	<p>《救命救急センター》</p> <p>長野赤十字病院</p>
災害医療	<p>《災害拠点病院及び基幹災害拠点病院》</p> <p>長野赤十字病院</p>
へき地医療対策	<p>《へき地医療拠点病院》</p> <p>厚生連新町病院</p> <p>《へき地診療所》</p> <p>長野市国保（大岡、鬼無里、信更、戸隠、中条、信里）診療所、町立古海診療所【信濃町】、小川村国保直営診療所【小川村】</p>
専門医療対策	<p>《がん診療連携拠点病院》</p> <p>長野赤十字病院、長野市民病院</p> <p>《エイズ治療拠点病院》</p> <p>県立須坂病院【須坂市】、長野赤十字病院</p> <p>《精神科救急医療指定病院》</p> <p>長野赤十字病院、栗田病院、鶴賀病院、篠ノ井橋病院【千曲市】、上松病院（東北信ブロック精神科救急指定病院）</p> <p>《感染症指定医療機関》</p> <p>県立須坂病院【須坂市】、厚生連長野松代総合病院</p>
周産期医療	<p>《正常分娩機能》</p> <p>厚生連長野松代総合病院、長野中央病院、吉田病院、板倉レディー</p>

	<p>クリニック、産科婦人科矢嶋医院、清水産婦人科医院、中川産科婦人科医院、中澤ウィメンズライフクリニック、丸山産婦人科医院、ひまわりレディースクリニック【須坂市】、助産所ほやほや</p> <p>《地域周産期医療》</p> <p>(高度周産期医療機関) 県立須坂病院【須坂市】</p> <p>(地域周産期母子医療センター) 長野赤十字病院、厚生連篠ノ井総合病院</p>
療養・療育支援	<p>《医療型障害児入所施設》</p> <p>稲荷山医療福祉センター【千曲市】、国立病院機構東長野病院</p>

資料：信州保健医療総合計画（第6次長野県保健医療計画）別冊 機能別医療機関の一覧及び長野県長野保健福祉事務所業務の概要(平成27年度)

③ 高等教育機関等

図表2-11 圏域内の主な高等教育機関等

項目	主な施設
大学	<p>〈国立〉信州大学（教育学部、工学部）</p> <p>〈県立〉長野県短期大学</p> <p>〈私立〉清泉女学院大学</p> <p>〈私立〉長野保健医療大学</p> <p>〈私立〉長野女子短期大学</p> <p>〈私立〉清泉女学院短期大学</p>
高等専門学校	<p>〈国立〉長野工業高等専門学校</p>
専修学校等	<p>〈県立〉須坂看護専門学校【須坂市】、農業大学校、長野技術専門学校</p> <p>〈私立〉OKA 学園トータルデザインアカデミー、豊野高等専修学校、長野赤十字看護専門学校、長野美術専門学校、長野調理製菓専門学校、文化学園長野専門学校、長野理容美容専門学校、専門学校カレッジオブキャリア（長野校、共和校）、信越情報専門学校 21 ルネサンス学院、大原スポーツ公務員専門学校、長野社会福祉専門学校、長野平青学園、長野法律高度専門学校、長野医療技術専門学校、信州医療福祉専門学校、長野看護専門学校、大原簿記情報ビジネス医療専門学校</p>
各種学校	<p>〈私立〉長野スクールオブビジネス、長野ビジネスアカデミー、長野予備学校、双葉編物芸術学院、竹原珠算学校</p>

資料：長野県ホームページ 大学・高等専門学校一覧、県立専修学校等一覧、私立専修学校・各種学校名簿（平成25年5月1日現在）

④ 研究機関

図表 2-12 圏域内の主な研究機関

項目	主な施設
公設試験研究機関	長野県工業技術総合センター（材料技術部門、食品技術部門）、長野県環境保全研究所（安茂里庁舎、飯綱庁舎）、長野県農業試験場【須坂市】、長野県果樹試験場【須坂市】

資料：全国公設試験研究機関リンク集（産業技術総合研究所 イノベーション推進本部 地域連携推進部）

⑤ 文化施設

図表 2-13 圏域内の主な文化施設

項目	主な施設
公共図書館	<p>〈県立〉 県立長野図書館</p> <p>〈市立〉 長野市立長野図書館、長野市立南部図書館、市立須坂図書館【須坂市】、千曲市立更埴図書館【千曲市】、千曲市立更埴西図書館【千曲市】、千曲市立戸倉図書館【千曲市】、坂城町立図書館【坂城町】、小布施町立図書館【小布施町】</p> <p>〈法人〉 ライブラリー 82</p> <p style="text-align: right;">資料：県立長野図書館ホームページ 公共図書館一覧</p>
博物館・美術館等	<p>≪登録博物館≫（平成 24 年 4 月 1 日現在）</p> <p>〈県立〉 長野県信濃美術館・東山魁夷館、長野県立歴史館【千曲市】</p> <p>〈市町村立〉 千曲市森将軍塚古墳館【千曲市】、さらしなの里歴史資料館、須坂市立博物館【須坂市】、長野市立博物館、戸隠地質化石博物館（長野市立博物館分館）、おぶせミュージアム・中島千波館【小布施町】、信州新町美術館・有島生馬記念館・信州新町化石博物館、野尻湖ナウマンゾウ博物館【信濃町】</p> <p>〈法人〉 公益財団法人北野美術館、財団法人北斎館【小布施町】、財団法人水野美術館、北野カルチュラルセンター（財団法人北野美術館分館）、財団法人日本のあかり博物館【小布施町】、財団法人田中本家博物館【須坂市】、信濃教育博物館</p> <p>≪博物館相当施設≫</p> <p>〈市町村立〉 一茶記念館【信濃町】、坂城町鉄の展示館【坂城町】</p> <p>〈法人〉 善光寺大勸進宝物館</p> <p style="text-align: right;">資料：長野県ホームページ 美術館・博物館情報</p>

⑥コンベンション及びスポーツ施設

図表 2-14 圏域内の主なコンベンション及びスポーツ施設

項目	主な施設
コンベンション スポーツ オリンピック	エムウェーブ / 長野市オリンピック記念アリーナ ビッグハット / 長野市若里多目的スポーツアリーナ 南長野運動公園長野 / オリンピックスタジアム アクアウイング / 長野運動公園総合運動場 総合市民プール ホワイトリング / 真島総合スポーツアリーナ
コンベンション オリンピック	長野市若里市民文化ホール
スポーツ オリンピック	スパイラル / 長野市ボブスレー、リュージュパーク
コンベンション スポーツ	北部スポーツ・レクリエーションパーク 南長野運動公園 総合球技場
コンベンション	ホクト文化ホール（長野県県民文化会館）、長野市芸術館（2016年5月開館予定）、長野県農協ビル、アークスセンター、篠ノ井市民会館
スポーツ	長野運動公園総合運動場

資料：(公財)ながの観光コンベンションビューローホームページ コンベンション施設（メインホール・宴会場等の規模 500 人以上、宿泊施設を除く）、関係市町村調べ

⑦ 商業施設及び金融機関

図表 2-15 圏域内の主な商業施設及び金融機関

項目	主な施設
主な大規模小売店（店舗面積 5,000 m ² 以上）	<p>㈱ながの東急百貨店、長野ホリデイスクエア、ケーズタウン若里、権堂駅前ビル、青木島ショッピングパーク、MIDORI 長野、AGAIN、マツヤショッピングモール、ショッピングタウン川中島、北長野駅前 B3 地区再開発ビル、東京インテリア家具長野店、ホームセンタームサシ長野水沢店・アークプロ資材館、イオンタウン長野三輪、ヤマダ電機テックランド長野 SBC 通り店、綿半スーパーセンター千曲店【千曲市】、ニトリ長野店、須坂ショッピングセンタービル【須坂市】、ベイシアショッピングセンター更埴店【千曲市】、綿半ホームエイド稲里店、綿半ホームエイド須坂店【須坂市】、千曲ショッピングタウン【千曲市】、Sports MAllof 長野、綿半スーパーセンター長池店、ケーヨーデイツー須坂インター店【須坂市】、信濃の里ショッピングタウン</p> <p style="text-align: right;"><small>資料：長野県産業労働部サービス産業振興室 大規模小売店舗一覧（平成 27 年 9 月 10 日現在）</small></p>

金融機関	八十二銀行、長野信用金庫、長野県信用組合、長野県労働金庫 (本店所在地が圏域内の金融機関)
------	--

資料：各種ホームページ

⑧ 公共交通

図表 2-16 圏域内の主な公共交通関連施設等

項目	主な施設
ターミナル駅	長野駅（JR東日本、しなの鉄道、長野電鉄）
鉄道	JR東日本（在来線及び新幹線）、しなの鉄道、長野電鉄
バス	アルピコ交通、長電バス
高速道路及びIC等	上信越自動車道、長野自動車道 信濃町IC、小布施スマートIC、須坂長野東IC、長野IC、坂城IC、更埴IC、姨捨スマートIC
道の駅	道の駅信州新町、道の駅長野市大岡特産センター、道の駅中条、道の駅しなの【信濃町】、道の駅オアシスおぶせ【小布施町】、道の駅おがわ【小川村】

資料：各種ホームページ

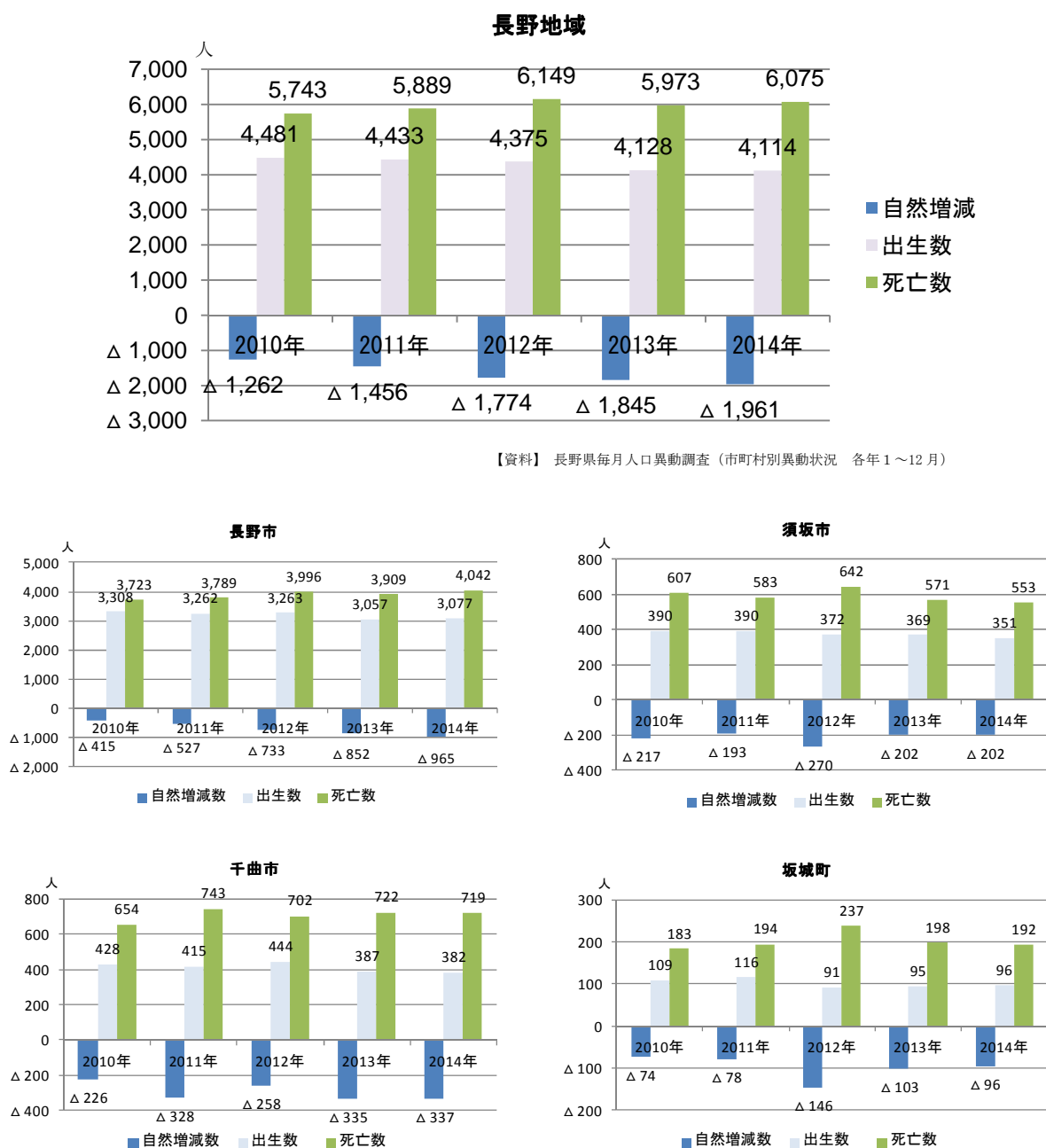
※図表 2-9～16：施設の所在市町村を【 】に記載（長野市所在は記載なし）

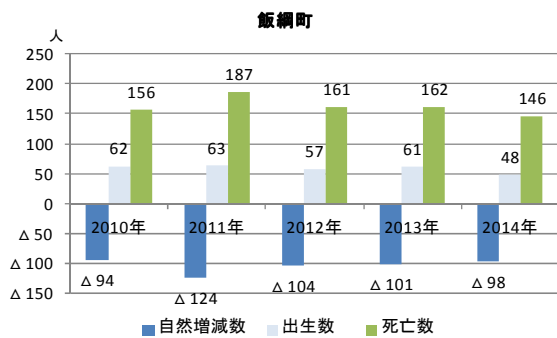
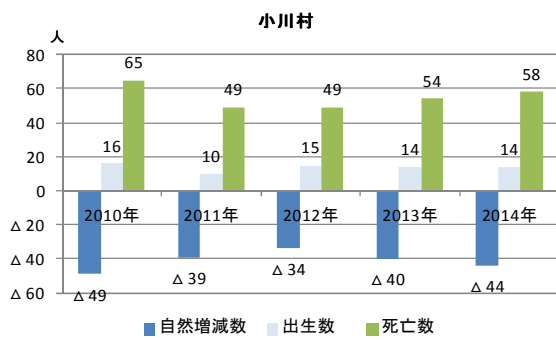
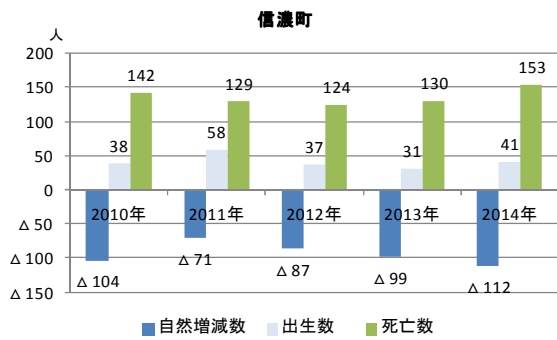
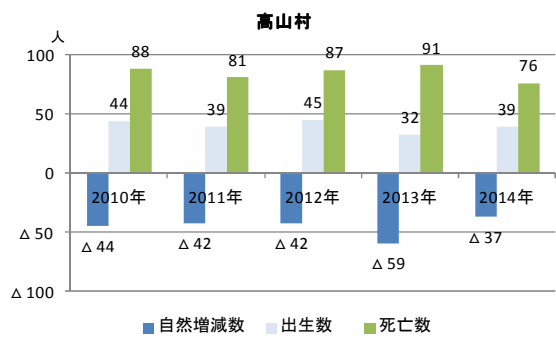
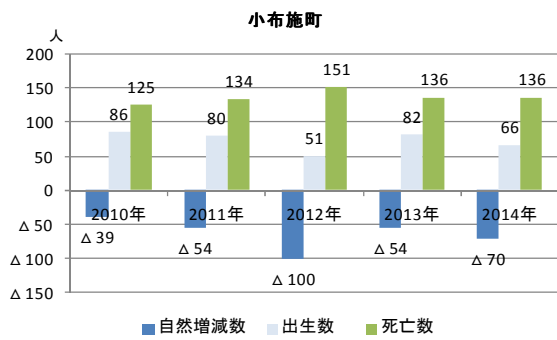
(6) 人口動態

《自然動態》

- ▶ 圏域全体の自然動態は、2010年（平成22年）の△1,262人から、2014年（平成26年）には△1,961人へと減少数が約1.5倍になっています。
- ▶ 長野地域全ての市町村において自然動態の減少が続いています。

図表2-17 自然動態の状況（長野地域全体及び各市町村）





《合計特殊出生率》

- ▶ 合計特殊出生率（平成 20～24 年）は、長野地域内全ての市町村において全国の数値を上回るものの、長野県の数値を下回っています。

図表 2-18 合計特殊出生率（平成 20～24 年）

	長野市	須坂市	千曲市	坂城町	小布施町	高山村	信濃町	小川村	飯綱町	長野県	全国
合計特殊出生率 (H20~24)	1.50	1.48	1.42	1.45	1.39	1.42	1.42	1.47	1.40	1.53	1.38

資料：人口動態保健所・市町村別統計（合計特殊出生率はベイズ推定値）

《社会動態》

- ▶ 長野地域内では、長野市、千曲市、坂城町、高山村が転入超過となっています。
- ▶ 県内では、佐久地域、上小地域へ転出超過となっています。また、長野市を除く市町村は松本地域への転出が多くなっています。北信地域から長野地域への転入が多くなっています。
- ▶ 県外では、須坂市、信濃町が転入超過となっています。

図表2-19 社会動態（国内移動）【転入－転出】（平成17年→平成22年）

単位：人

区分	長野市	須坂市	千曲市	坂城町	小布施町	高山村	信濃町	飯綱町	小川村	域内計
長野市	-	211	▲155	▲4	11	▲11	77	68	81	278
須坂市	▲211	-	16	6	48	▲45	16	14	5	▲151
千曲市	155	▲16	-	▲32	▲3	3	2	3	3	115
坂城町	4	▲6	32	-	1	0	2	▲1	2	34
小布施町	▲11	▲48	3	▲1	-	▲6	▲5	10	0	▲58
高山村	11	45	▲3	0	6	-	0	4	0	63
信濃町	▲77	▲16	▲2	▲2	5	0	-	▲47	1	▲138
小川村	▲81	▲5	▲3	▲2	0	0	▲1	1	-	▲91
飯綱町	▲68	▲14	▲3	1	▲10	▲4	47	-	▲1	▲52

単位：人

区分	佐久	上小	諏訪	上伊那	飯伊	木曾	松本	大北	北信	域外計
長野市	▲110	95	134	85	68	47	305	195	812	1,631
須坂市	▲22	▲56	2	13	23	▲5	▲110	▲1	208	52
千曲市	▲29	▲11	18	▲9	4	▲8	▲73	▲6	33	▲81
坂城町	▲26	▲14	1	▲27	6	2	▲27	2	▲1	▲84
小布施町	▲24	▲12	▲2	▲4	14	2	▲15	10	38	7
高山村	▲8	▲5	▲7	2	▲4	4	▲14	1	3	▲28
信濃町	▲2	▲6	▲6	3	▲1	▲2	▲34	▲1	▲10	▲59
小川村	▲2	▲2	1	0	▲1	0	▲15	5	▲7	▲21
飯綱町	▲3	7	▲5	▲10	▲4	0	▲17	6	6	▲20
長野地域	▲226	▲4	136	53	105	40	0	211	1,082	1,397

単位：人

区分	県内	県外	うち東京	計
長野市	1,909	▲4,491	▲977	▲2,582
須坂市	▲99	229	50	130
千曲市	34	▲559	▲34	▲525
坂城町	▲50	▲210	▲23	▲260
小布施町	▲51	▲103	▲25	▲154
高山村	35	▲103	▲12	▲68
信濃町	▲197	36	13	▲161
小川村	▲112	▲5	6	▲117
飯綱町	▲72	▲85	▲31	▲157
長野地域	1,397	▲5,291	▲1,033	▲3,894

(注) 現住市区町村による5年前の常住市区町村（転入）、（転出）のデータを基に作成

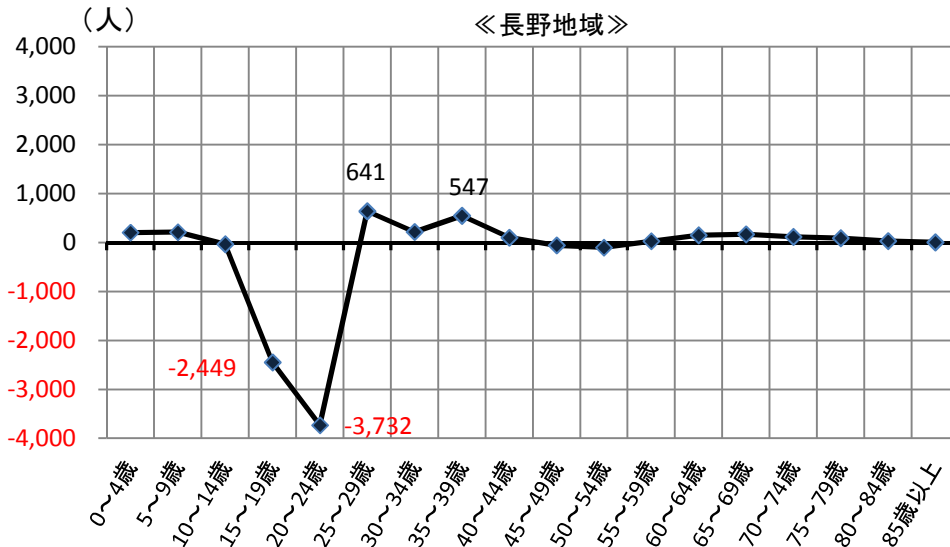
資料：H22 国勢調査をもとに県作成

出典：長野地域の人口について（長野県作成）

《年齢階層別転出入数（国内移動）（H17～22）》

- ▶ 15～24 歳で転出が大きく超過しています。
- ▶ 転入超過のピークは 25～29 歳と 35～39 歳に分散しています。

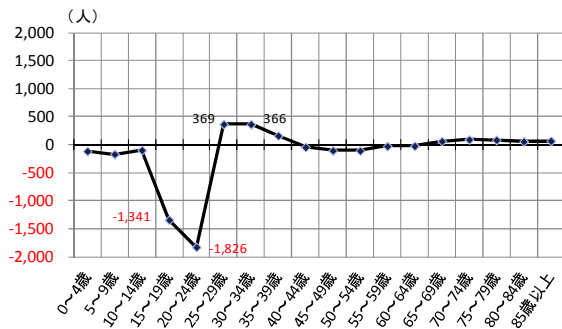
図表 2-20 年齢階層別転出入数（国内移動）（H17～22）（長野地域全体及び各市町村）



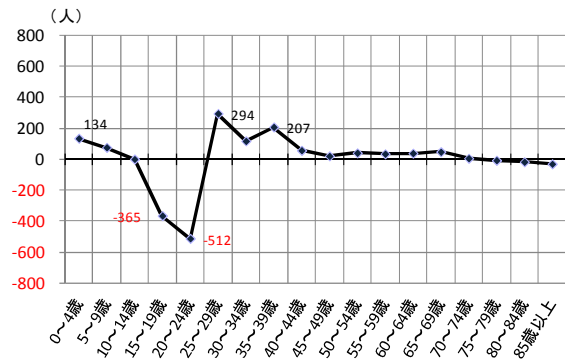
資料：H22 国勢調査をもとに県作成

出典：長野地域の人口について（長野県作成）

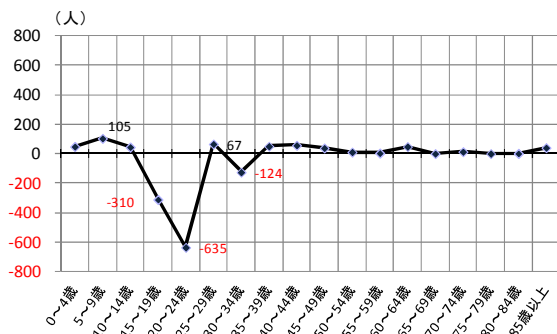
《長野市》



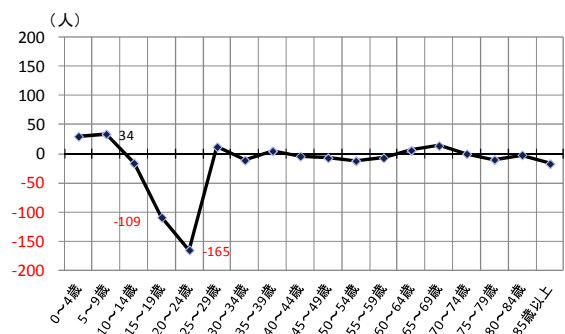
《須坂市》



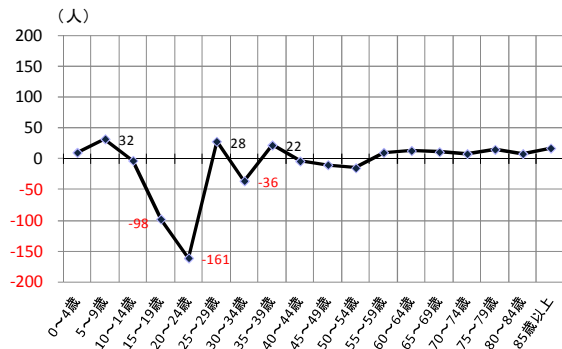
《千曲市》



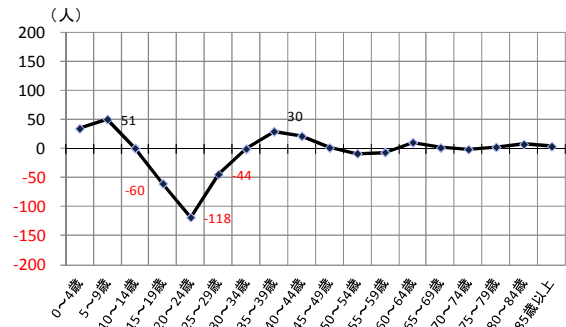
《坂城町》



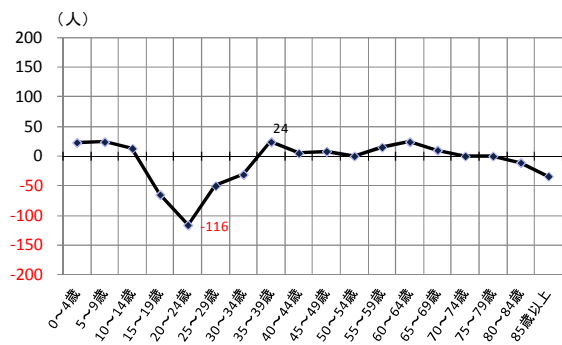
《小布施町》



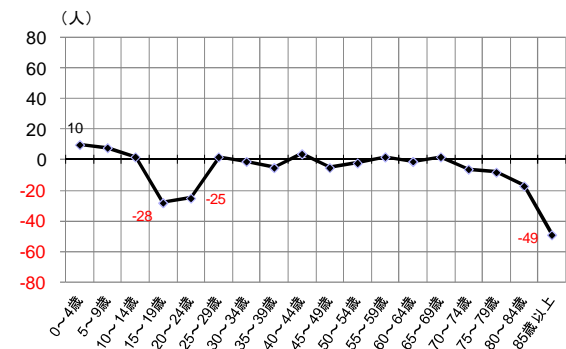
《高山村》



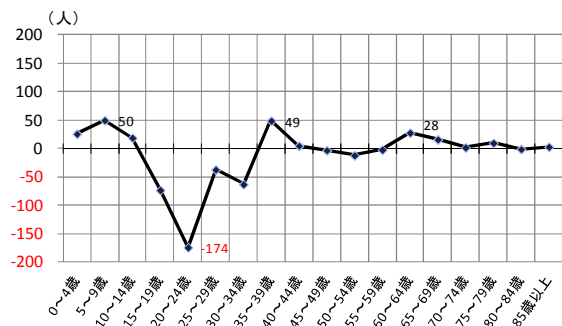
《信濃町》



《小川村》



《飯綱町》



2. 長野地域の将来像

(1) 目指すべき将来像

人口減少下における長野地域の現状から導き出される主な課題を解決することにより、3つの将来像を目指します。

《長野地域の現状から導き出される主な課題》

① 新しい人の流れの創出

【現状】

- ・平成12年の約57万人をピークとして減少に転じ、今後30年間（H22～H52）で約13万人減少する見込み
- ・年少人口割合、生産年齢人口割合が低下する一方、老年人口割合が上昇する見込み
- ・県外転出のうち、約2割が東京への転出
- ・特に15～24歳の転出が突出して多い
- ・地域の歴史文化遺産や数多くある温泉、冬季の降雪といった観光振興につながる資源をさらに活かしていくことが必要

② 少子化への対策

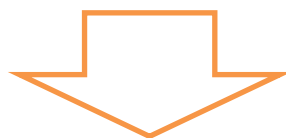
【現状】

- ・合計特殊出生率は長野地域内全ての市町村で全県の数値を下回っている
- ・若年女性の人口減少により、少子化が加速する見込み
- ・女性（20～39歳）の数は、2010年と比べ2040年に4割近く減少する見込み

③ 農商工連携など幅広い施策による産業振興

【現状】

- ・農業従事者の減少や高齢化が進んでいる
- ・商工業は一部回復傾向が見られるものの、ともに伸び悩みの傾向にある
- ・市町村によって就業者割合が高い産業が異なっており、地域内では産業の幅が広いためその多様性に配慮が必要



課題を解決し、持続可能な圏域の形成を目指す

《目指すべき圏域の将来像》

① 長野地域が人でにぎわっている

- 貴重な歴史文化遺産や温泉をはじめとする豊富な観光資源、長野地域における四季折々の豊かな自然 及び整備された高速交通網による首都圏との近接性など、長野地域の特色・強みを最大限に活かし、定住人口・交流人口の増加に取り組みます。
- 長野地域に人がとどまる、戻ってくるような、誇りと愛着を持てる地域づくりに取り組みます。

② 子どもの笑顔があふれている

- 結婚、妊娠・出産、子育てをつなぐ切れ目の無い少子化対策に取り組みます。
- 子ども・子育て支援の更なる充実やワーク・ライフ・バランスの実現などにより、子育て世代、特に女性が安心して働ける環境づくりに取り組みます。

③ 長野地域が活力に満ちている

- 各市町村の地域資源を活用した農商工の連携により、経済の域内循環に取り組みます。
- 産学金官等の連携により、新規創業（イノベーション）支援や企業が望む人材の育成などに取り組みます。
- 連携して企業を誘致するなど「お互いの強みを活かし弱みを補う」ことにより、地域の総合力をもって地域経済の更なる発展に取り組みます。

(2) 中長期的な将来の人口目標

2040年（平成52年）の人口目標

48万人

【算出根拠】

長野地域における以下に掲げる人口の総和

- ①人口ビジョンの対象期間が2040年の市町村：人口ビジョンに掲げる目標人口
- ②人口ビジョンの対象期間が2060年の市町村：目標人口を導き出す2040年の推計人口

Ⅲ 連携協約等に基づき推進する具体的取組

1. 連携事業

(1) 圏域全体の経済成長

a 産学金官民一体となった経済戦略の策定、国の成長戦略実施のための体制整備

連携協約の内容

地域経済の分析に基づき、産学金官が連携した地域経済成長戦略に関する取組

事業名							関係市町村
事業概要							
事業効果							
役割分担							
連携中枢都市：							
連携市町村：							
費用分担							
連携中枢都市：							
連携市町村：							
国県補助事業等の名称・補助率等							
事業費 (千円)	H28	H29	H30	H31	H32	合計	

b 産業クラスターの形成、イノベーション実現、新規創業促進、地域の中堅企業を核とした戦略産業の育成

連携協約の内容

産学金官連携による新技術や新製品の開発など中小企業（ものづくり産業）への支援、圏域の特性を活かした様々な分野での創業促進やイノベーションの実現及び異分野異業種交流に向けた取組

2. 具体的取組の期間

2016年度（平成28年度）から2020年度（平成32年度）までの5年間とし、毎年度所要の変更を行うものとする。

3. 成果指標

圏域全体の経済成長、高次の都市機能の集積・強化及び生活関連機能サービスの向上の各分野において成果指標を設定し、進捗管理を行う。

《参考 検討中の指標》

分野	指標	現状値		出典
圏域全体の経済成長	観光消費額(百万円)	59,454	H26年	「観光地利用者統計調査結果」 長野県山岳高原観光課
	年間有効求人倍率(実数値)	(暫定数値) 1.35	H26年10月～ H27年9月	長野、篠ノ井、須坂ハローワーク月報
	(長野県及び全国との比較指数)	長野県との比較 1.11	圏域/長野県	長野労働局月報
		全国との比較 1.15	圏域/全国	月例労働経済報告（厚生労働省）
高次の都市機能の集積・強化	JR長野駅乗車数(千人)	7,622	H26年度	JR東日本ホームページ
	圏域内インターチェンジ乗降車数(千台)	16,346	H26年度 圏域内IC出入り口交通量	NEXCO東日本関東支社
生活関連機能サービスの向上	出生者数(人)	4,114	H26年	「毎月人口異動調査結果」 長野県情報政策課統計室
	人口社会動態(人) (転入者数-転出者数) ※従前地または転出先不明を含む	▲899	H26年	「毎月人口異動調査結果」 長野県情報政策課統計室